

令和4年度 手稲区の目標と取組

手稲区では住んで良かったと実感できる「人に優しいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」を目標として4つの取組を進めてまいります。

1 安心して暮らせるまちづくりの取組

- 地域住民、学校職員、区職員を対象に、実際の避難所で開設や運営に関する実地研修を開催
- 町内会の防災リーダー育成のため、「基礎編」「実務編」の研修を開催
- 災害時の要配慮者の避難支援に向けた、各地域での取組を支援
- 災害発生時の相互支援を円滑に進めるための「地域防災事業者ネットワーク会議」を開催



2 子どもの健全な育成や健康寿命の延伸を支援する取組

- 安心して子育てができる環境づくりのため、子育て家庭やその他の地域の人と交流し、日常的につながりが持てるよう各地域の「子育てサロン」の運営を支援
- 子育て支援関係者とのネットワークを充実させるとともに、個別の子育てニーズに対応
- 食育意識の向上を目指し、管理栄養士による若者向けの食育支援や北海道科学大学と連携した啓発活動を実施
- 北海道科学大学や企業、地域等と連携して、ウォーキングなどによる運動習慣の普及を促進
- 生涯現役で学ぶ意欲や生きがいを感じられる場を提供するため、稲苑大学（高齢者教室）を開催



手稲区役所における新型コロナウイルス感染症対策

区民のみなさまに安心して来庁していただくために、基本的な感染拡大防止対策のほか、次のような取組を実施しております。

- 必要かつ十分な換気量を継続的に確保するため、区総合庁舎内の各ブロックの二酸化炭素濃度に応じた自動的な機械換気と定期的な窓開け換気の実施
- 窓口の混雑状況がわかる「窓口お呼び出し情報」システムを導入（戸籍住民課）
- 窓口の混雑緩和のためマイナンバーカードの受け取りに予約制を導入

など

目標

- 人に優しいまちづくり
- ふるさと手稲づくり



※ 各事業は新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施いたしますが、感染状況等により実施を見送る場合があります。

3 地域活動の活性化を支援する取組

- 地域のまちづくり活動や地域で活躍する人々の活動内容を区ホームページなどで紹介
- まちづくり活動の新たな担い手づくりを支援するため、町内会関係者を対象に研修会を実施
- 地域住民のスポーツ交流を深めるイベント「スポーツ・レクリエーション祭」実行委員会を支援
- 区内の各種関係団体と連携・協力し、「ていね夏あかり」を開催
- 子どもたちの雪対策への意識を高めるため、将来のまちづくりを担う小学生を対象とした雪体験授業を実施



4 手稲区の魅力を発信する取組

- 親子スキー教室や手稲山ウォーキングの実施などを通して、区のシンボルである「手稲山」の魅力を発信
- 富丘西公園のスズランや星置緑地のミズバショウなどの貴重な自生植物の保全活動を、地域の方々と共に実施
- 手稲区の魅力を発信し、来庁者に親しみのある場を提供するため、情報提供コーナーをリニューアル
- 手稲区への愛着を深めてもらうことを目的として、区内の小学校新一年生に「ていねオリジナルノート」を、出生届、婚姻届を提出された区民に「ていね型スポンジ」を提供
- 「ていねダンス」やテーマソングのPRなどを通じて、区マスコットキャラクター「ていね」の魅力を発信



区役所窓口の利便性の向上

- 区役所窓口のサービスアップを図ることを目的とし、「総合案内」と「おくやみ窓口」を開設予定